



一 寺に相する半 酒券

二 美き来保

三 ありきつらこ おりた

四 可天下也る才

五 是を故ハ文生也

六 次の如くみあつん

七 此とく 物あ大

八 此とくし 本起美

九 ありきめし

一〇 可くえ あるに勝る

一一 可くえ あるに勝る



一才不あはれ勝る

まじき道あり物し

るや幾十日話、

至し米ら午之布し

接り山そしく人荒

表はそしく人あふ

才はしり何れも

かくしふふをる

才十幾し

大あくらさる

字しるやしん

右人言ふおしん

外惜し乙米ら

右ノ言ニホウノ尺珠

ノ外博ノ之米ら

云知今ノ人ノ上ノ

井ノ上ノ去ル以本

草ノ米ら口ノ

おん子ノ米ら

米ノ米らノハ

米ノ米らノ

米ノ米らノ

米ノ米らノ

米ノ米らノ

米ノ米らノ

米ノ米らノ

何れにせしやハス  
あは言ふあし米らし  
相違りまし地子十

入、亦米ら表死

カ川一田に入て得

あは言ふ中入、返る

等し、古辰立天中

只、保為安定知死

物花をあらしん意

を川、せん、せん、せん

一月今と三事し

中、物ふをしあ

中、物ふをしあ

糸巾、物ふきしあ

巾、衣きり内、入ふ

袷、衣、定、衣、い、い、い、い

白、い、き、し、い、い、い

以、巾、い、花、衣、盡

い、衣、衣、い、い、い、い

平、比、衣、衣、い、い、い

念、い、い、い、い、い、い

衣、い、い、い、い、い、い

巾、い、い、い、い、い、い

衣、い、い、い、い、い、い

衣、い、い、い、い、い、い

衣、い、い、い、い、い、い

考くは、あはれ、  
石竹三、中外大  
物し、物、  
保考、  
成、  
物、  
笑し、  
事、  
本、  
あ、  
と、  
也、

色し区別するに

皆底にあたる石

有ししと云ふは

中、ある中し

大物も七又ハ

其公をたす

せしとす

あはれふ

可也

一何事

を何と

こと

あり

中

可也

一何事乎及能也甚矣

之何事乎及能也甚矣

ことさしし石室所

あささすえらりてん

中しん平定心又也

あささすえらりてん

あさ

一何事乎及能也甚矣

あささすえらりてん

あささすえらりてん

あささすえらりてん

あささすえらりてん



あつたてふらふ

かゝるはなは

あつたてふらふ

あつた

あつたてふらふ

あつたてふらふ

あつたてふらふ

あつたてふらふ

あつたてふらふ



帆足萬里書簡

宛先未詳

特 別

又 4

4899

4 (15)





Faint vertical text on the right cover page, possibly a library or collection number.



一 寺 有 相 師 半 酒 春

二 美 芝 葉 來 偶 々



帆足萬里書簡 宛先未詳

特 別

又 4

4899

4 (15)

